

# 北九州市議会

# 議会報告会

## 議会基本条例

北九州市議会においても市民との協働による開かれた議会の実現を目指し、市民への責任を果たすため、議会や議員の役割及び活動原則、議会と執行機関との関係及び議会と市民との関係等を明らかにし、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することを決意し、この条例を制定する。

( 条例前文から抜粋 )

# 議会基本条例第6条

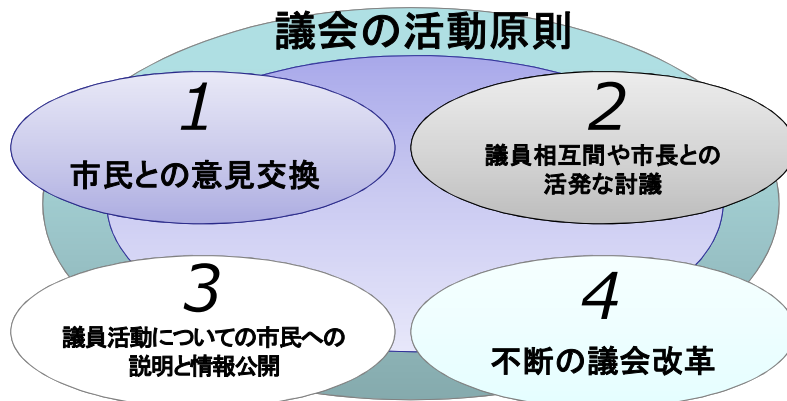
(市長その他執行機関との関係)

第6条 二元代表制の下、議事機関である議会と市長その他の執行機関は、独立対等の立場で、適度な緊張関係と信頼関係を築き、相互の議論を深め、調整を行いながら、本市の意思決定を行う。

## 議会基本条例 (平成23年10月1日施行)

### 市民との協働による開かれた議会

#### 議会の活動原則



# 議会基本条例第14条

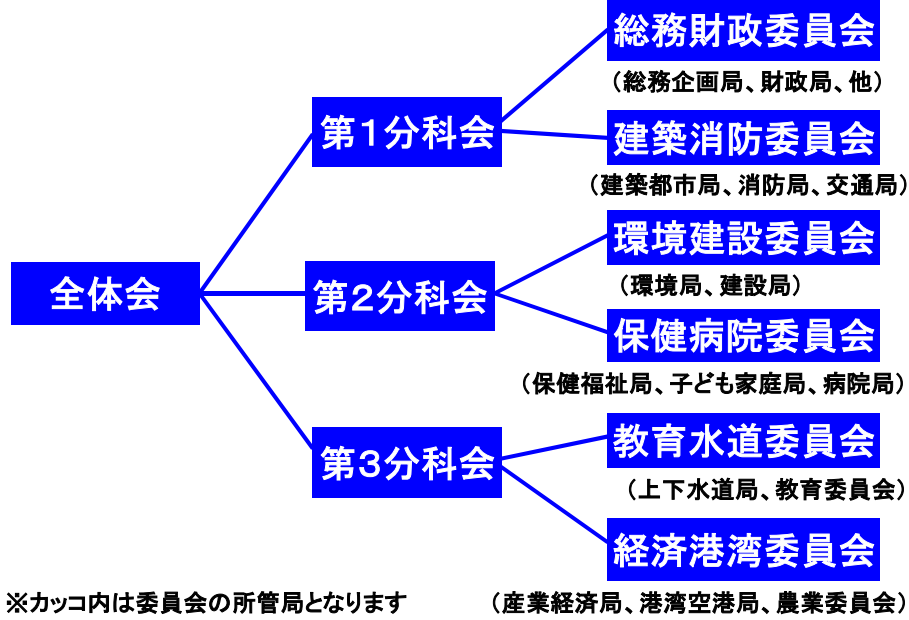
(議会報告会の開催)

第14条 議会は、必要に応じて議会報告会を開催し、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を把握し、議会活動に反映させるものとする。

## 議会報告会開催区

|   | H23年11月 | H24年5月 | H24年11月 | H25年5月 |
|---|---------|--------|---------|--------|
| ① | 八幡西     | 八幡東    | 小倉南     | 八幡西    |
| ② | 小倉南     | 門司     | 八幡西     | 門司     |
| ③ | 小倉北     | 若松     | 戸畑      | 小倉北    |

## 予算特別委員会の構成



# 平成25年度予算 概要及び審議結果報告

報告者：鷹木研一郎議員

# 平成25年度予算特別委員会 審査報告



結び合う ちから  
未来へ 響きあう

【報告者】

委員長：鷹木研一郎

## 平成25年度予算のキャッチフレーズ

新たな成長へチャレンジし、  
市民生活の安全・安心を守る予算

### 平成25年度予算の4つの柱

- 地域経済対策の推進
- 安全・安心なまちづくり
- 子育て・教育・福祉・医療の拡充
- 市制50周年記念事業の実施と  
まちのにぎわいの創出

# 北九州市

## 平成25年度予算の概要

### 平成25年度予算の規模

#### 予算の規模

- 一般会計の予算額は、 5,400億円（対前年度比 2.2%減）
- 特別会計の予算額は、 5,246億円（対前年度比 1.9%増）
- 企業会計の予算額は、 1,149億円（対前年度比 1.6%増）

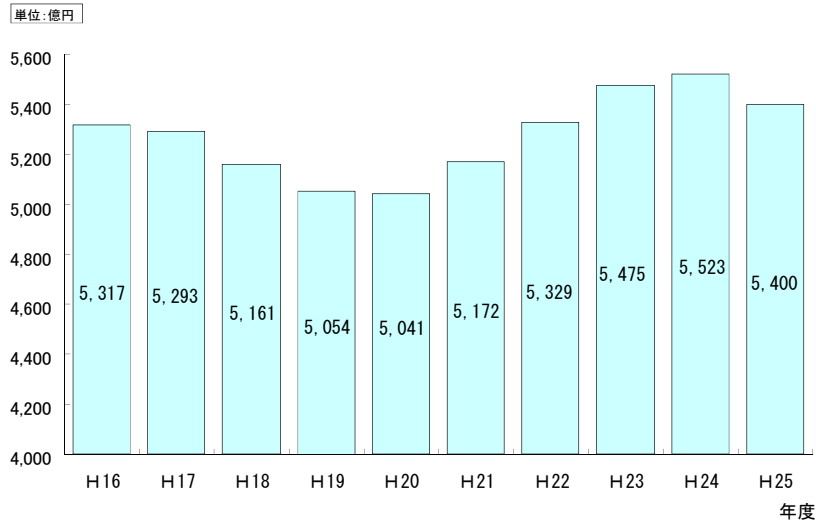
#### 【全会計の予算規模】

（単位：百万円、%）

|      | 平成25年度    | 平成24年度    | 差引（H25-H24） |      |
|------|-----------|-----------|-------------|------|
|      |           |           | 金額          | 伸率   |
| 一般会計 | 539,980   | 552,286   | ▲12,306     | ▲2.2 |
| 特別会計 | 524,552   | 514,720   | 9,832       | 1.9  |
| 企業会計 | 114,901   | 113,045   | 1,856       | 1.6  |
| 合計   | 1,179,433 | 1,180,051 | ▲618        | ▲0.1 |

## 一般会計の予算規模の推移

平成25年度の予算額は、5,400億円  
(対前年度比 2.2%減)で5年ぶりの減

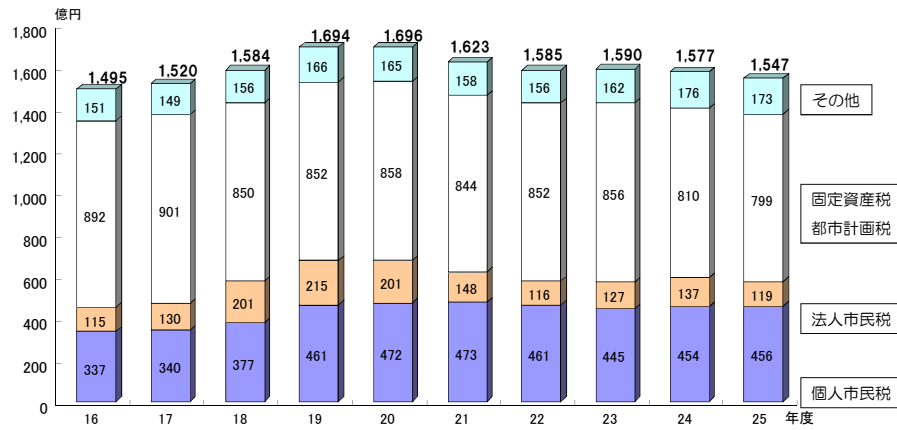


## 歳入予算の内訳(主なもの)

- 市税 1,547億円(対前年度比 1.8%減)
- 地方交付税等 845億円(対前年度比 4.0%減)  
(地方交付税535億円+臨時財政対策債310億円)
- 県税交付金(地方消費税交付金など)  
177億円(対前年度比6.9%減)
- 国県支出金 1,099億円(対前年度比 1.7%増)
- 繰入金 135億円(対前年度比 18.9%増)

## 市税の推移(当初予算ベース)

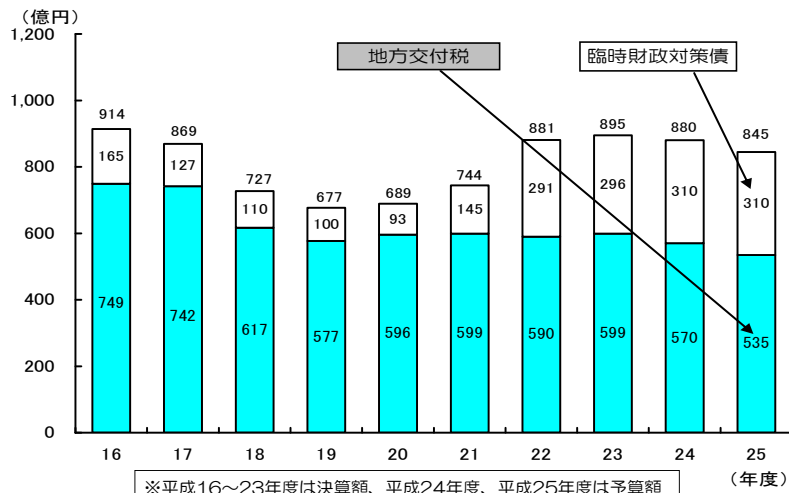
平成25年度の市税収入は、個人市民税や市たばこ税においては増収が見込まれる一方、法人市民税や固定資産税、環境未来税などにおいて、減収が見込まれることから、前年度に比べ29億円(▲1.8%)の減



※四捨五入による端数処理のため、増減額については上記説明と一致しない場合がある。

## 地方交付税等の推移

平成25年度の地方交付税等は、845億円(対前年度比35億円の減、▲4.0%)



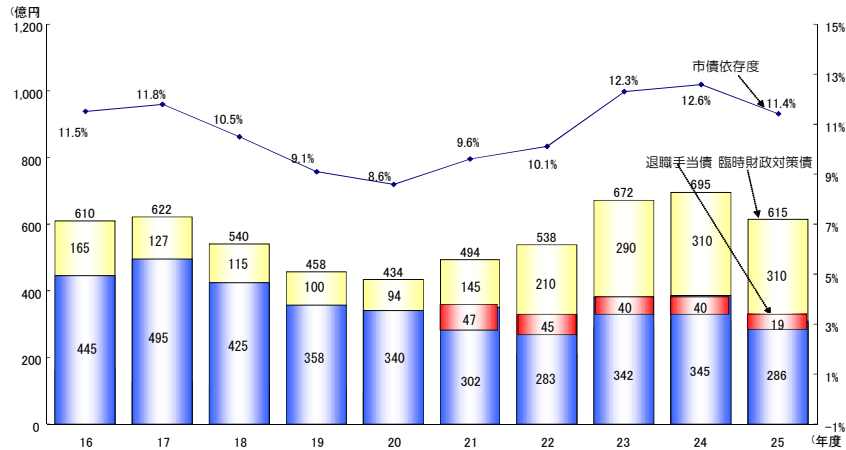
※平成16~23年度は決算額、平成24年度、平成25年度は予算額



## 市債発行額と市債依存度の推移（当初予算ベース）

平成25年度の市債発行額 615億円（対前年度比80億円の減、▲11.5%）

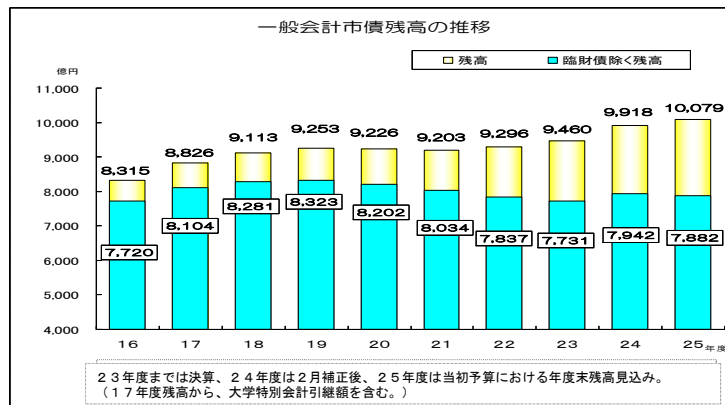
- ◆地方交付税の振り替えである臨時財政対策債は、前年度と同額
- ◆市債依存度は、11.4%となり、対前年度比1.2ポイント減



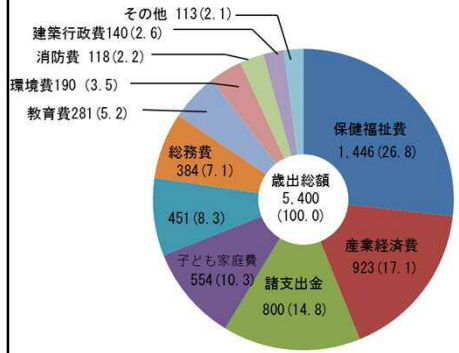
## 一般会計市債残高の推移

平成25年度の市債残高（臨時財政対策債を除く市債残高は、7,882億円  
：対24年度末比▲60億円の減）

- ◆臨時財政対策債を除く市債残高は、対前年度比60億円の減
- ◆臨時財政対策債を含めた市債残高は、対前年度比161億円の増



## 平成25年度 一般会計の歳出の状況 (1)



【単位：億円（ ）内は構成比%】

### 目的別

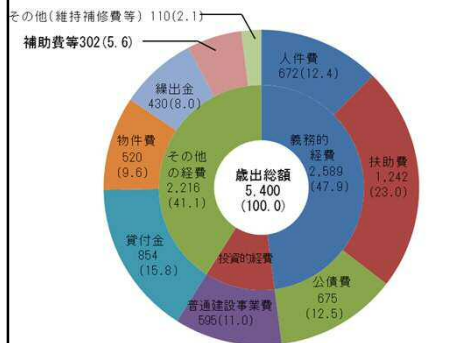
● **総務費 ▲43億円**  
(25：384億円←24：406億円)

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業  
(ホール) (▲21億円)  
コムシティ改修事業(八幡西区役所等)  
(▲11億円) など

● **保健福祉費 +42億円**  
(25：1,446億円←24：1,404億円)

生活保護費の増(+19億円)  
国民健康保険特別会計(+9億円)や後期高齢者  
医療制度(+8億円)への繰出金の増など

## 平成25年度 一般会計の歳出の状況 (2)



【単位：億円（ ）内は構成比%】

### 性質別

● **義務的経費 2,589億円**  
(対前年度比▲1億円<±0.0%>)

地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務付けられ任意に節減できない経費

◆人件費 672億円  
(対前年度比▲31億円<▲4.5%>)

◆扶助費 1,242億円  
(対前年度比+34億円<+2.8%>)

◆公債費 675億円  
(対前年度比▲4億円<▲0.5%>)

● **投資的経費 595億円**  
(対前年度比▲89億円<▲13.0%>)

【15か月予算ベース】

投資的経費 701億円  
(対前年度比+17億円<+2.5%>)

## 収支改善の主な取り組み

- 歳入（641百万円） （効果額は一般会計・一般財源ベース）
  - ① **貸付金の繰上償還** 【200百万円】  
病院事業会計からの貸付金の繰上償還を行う
  - ② **特別会計の剰余金の活用** 【170百万円】  
廃棄物発電特別会計の剰余金の活用により、一般財源負担の軽減を図る
  - ③ **市立障害福祉施設の民間譲渡** 【270百万円】  
指定管理者制度により運営していた市立障害福祉施設のうち、3施設を公募で民間に有償譲渡する。
  
- 歳出（6,020百万円）
  - ① **職員数の削減** 【811百万円】  
組織・機構の簡素・効率化や事務事業の見直しなどにより、職員数の削減に取り組む
  - ② **事務事業の見直し** 【5,074百万円】  
事務事業の見直し等や指定管理者制度の導入の推進

## 平成25年度予算特別委員会

# 第1分科会審議報告

報告者：吉河節郎議員・世良俊明議員

**1. 防犯灯の設置 及び  
維持管理費の負担について**

**2. 新球技場の  
規模縮小について**

**1. 防犯灯の設置 及び  
維持管理費の負担について**



**(1) 市内に設置されている防犯灯の数**

**(2) LED化された防犯灯の数とLED化率**

| 設置区分  | 市内設置の防犯灯数 | LED化灯数及び率の累計       |                     |                     |
|-------|-----------|--------------------|---------------------|---------------------|
|       |           | 平成23年度             | 平成24年度              | 平成25年度              |
| 自治会設置 | 53,000 灯  | 5,309 灯<br>(10.0%) | 12,372 灯<br>(23.3%) | 19,372 灯<br>(36.6%) |
| 市設置   | 15,000 灯  | 1,622 灯<br>(10.8%) | 3,126 灯<br>(20.8%)  | 4,626 灯<br>(30.8%)  |
| 合計    | 68,000 灯  | 6,931 灯<br>(10.2%) | 15,498 灯<br>(22.8%) | 23,998 灯<br>(35.3%) |

※平成23年度のLED化灯数は実績ベース。平成24、25年灯数は予算ベース。

**(3) 防犯灯の年間の維持管理費とその内訳（1灯当たり）**

| 内容                | LED灯     | 蛍光灯        |
|-------------------|----------|------------|
| ① 年間維持費           | 約1,900円  | 約3,600円    |
| うち電気代             | 約1,900円※ | 約2,700円    |
| うち電球換え等           | —        | 約900円（年平均） |
| ② 市からの補助金         | 1,100円   | 1,800円     |
| ③ 地元の負担額<br>(①－②) | 約800円    | 約1,800円    |

※LED灯の電気代は、20ワット以下契約の場合

#### (4) 防犯灯の設置費用（1灯当たり・添架灯の場合）

| 区 分  | 設置費用      | 本市の補助  |      |         | 地域の負担         | 備考  |
|------|-----------|--------|------|---------|---------------|---|
|      |           | 時期     | 補助率  | 補助上限額   |               |   |
| LED灯 | 25,000円程度 | —      | 3/4※ | 18,400円 | 6,000円～7,000円 | ※LED化にあたり、地元の負担が増えないよう、H23.7から補助率を2/3から3/4に引き上げた。 |
| 蛍光灯  | 19,500円程度 | ～H23.6 | 2/3  | 13,000円 | 6,000円～7,000円 |   |
|      |           | H23.7～ | 1/2  | 8,500円  | 約11,000円      |   |

#### 議員の質問(要旨)

- ◆町内会による防犯灯の設置や維持管理の費用負担は重いものがある。
- ◆高齢者や障害者の安全・安心の生活にも防犯灯の役割は大きい。
- ◆日本で最も安全・安心な街とするためにも、設置・維持管理費は全額市が負担すべきでは・・

## 市長の答弁(要旨)

- ◆自治会の加入率が低下する中、防犯灯管理の厳しさを認識。
- ◆市民一人ひとりが、高い防犯意識を持つことが大事。住民による自主的な防犯活動が積極的に行われることが重要。
- ◆市が住民活動を側面から支援していくことが効果的。

## 2. 新球技場の規模縮小について



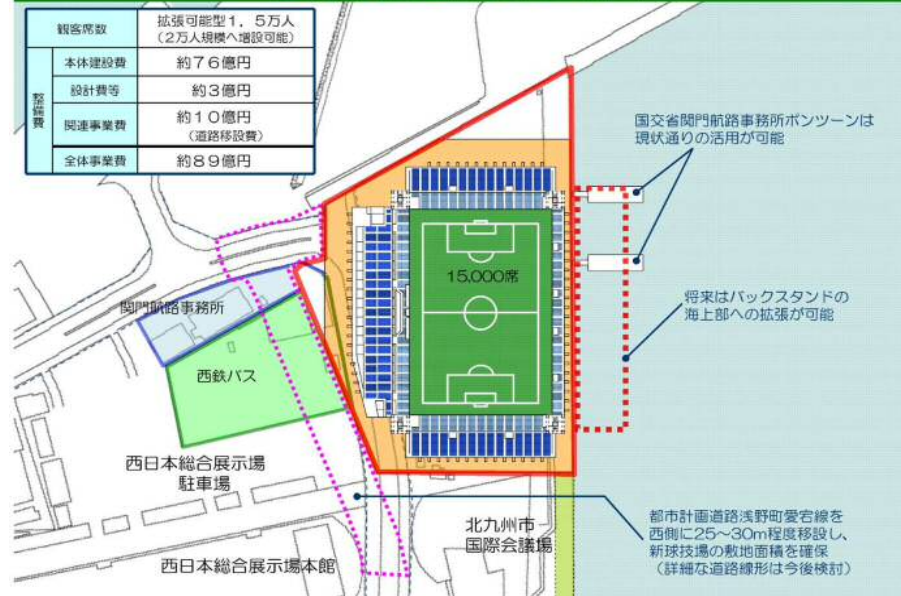
## 海上活用案

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 観客席数  | 2.0万人             |
| 本体建設費 | 約100億円            |
| 設計費等  | 約3億円              |
| 関連事業費 | 約4億円<br>(支障物件移設費) |
| 全体事業費 | 約107億円            |



## 道路移設を伴う陸上部案

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 観客席数  | 拡張可能型1.5万人<br>(2万人規模へ増設可能) |
| 本体建設費 | 約76億円                      |
| 設計費等  | 約3億円                       |
| 関連事業費 | 約10億円<br>(道路移設費)           |
| 全体事業費 | 約89億円                      |





## **議員の質問（要旨）**

- ◆市民スポーツ振興の観点から球技場建設について伺う。
- ◆収容人員2万人を1.5万人に変更したが将来の増席は・・
- ◆今回の縮小案には将来の拡張が盛り込まれているのか。

## **市長の答弁（要旨）**

- ◆事業計画は負担の減、Jリーグ基準、将来の拡張など考慮。
- ◆将来、バックスタンドの海上部への拡張が可能。
- ◆施設のデザインやエコ機能、シンボル性を重視し、市民が愛着と誇りを持てる施設に。

## 予算特別委員会第一分科会報告

1. 市の財政状況の現状認識や改善にむけたとりくみについて
2. 老朽危険家屋対策について
3. 消防活動困難区域での消防活動について

### 1. 本市財政の現状認識や改善にむけた取り組みについて

- 厳しい平成25年度予算

#### 議員の質問

「過去の行財政改革計画策定時期と比べてどのような厳しさがあるのか？」

#### <過去のプラン>

平成18年6月

「北九州市経営改革大綱」

平成20年12月

「北九州市経営プラン」

市長の答弁

平成18年6月「北九州市経営改革大綱」

いわゆる三位一体改革の影響

地方交付税や国からの補助金が大幅に減少

平成20年12月「北九州市経営プラン」

市税や地方交付税など歳入が伸び悩み、

公債費や福祉医療費増で多額の収支不足

平成20年秋 リーマンショック発生

しかし、平成22年度決算 平成23年度決算は、ともに財源調整用基金を取り崩さない単年度収支均衡を維持した

<平成25年度予算>

市税+地方交付税の前年度比較では

平成18年度 22億円増

平成20年度14億円の減

平成25年度65億円の減

と一番影響が大きい

人件費・扶助費など義務的経費の割合

平成18年度 43.6%

平成20年度 46.3%

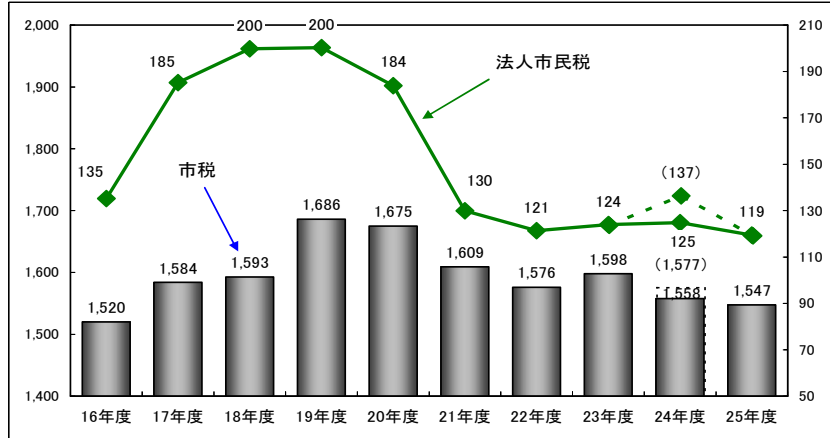
平成25年度 47.9%

と増加している

### (1) 市税収入の状況

市税収入は、平成19年度から減少傾向となっている。特に、リーマンショック後の景気の低迷等により法人市民税は、大きく減少し、その後、横ばいとなっている。

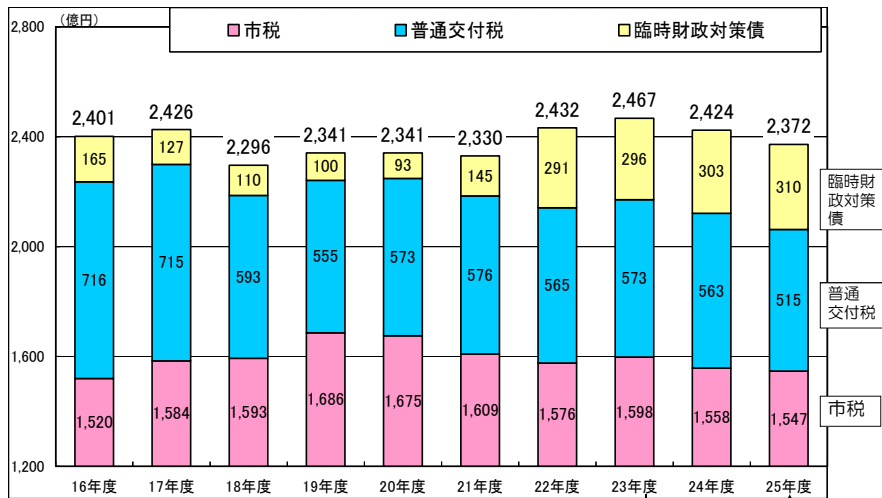
(単位: 億円)



※23年度までは決算額。24年度は2月補正後予算額、( )は当初予算額。25年度は当初予算額。

### (2) 主な一般財源の状況(市税+普通交付税+臨時財政対策債)

本市の主な一般財源である市税+臨時財政対策債を含む地方交付税等のベースで見ると、平成24年度以降減少傾向となっている。

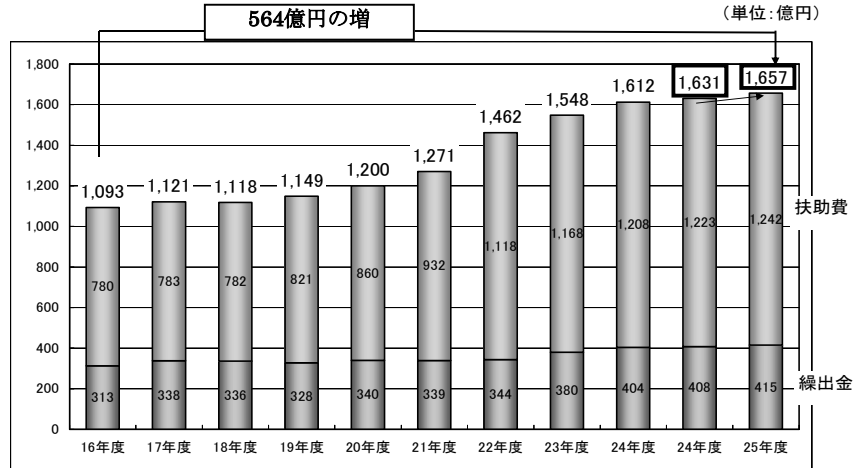


※23年度までは決算額。24年度は2月補正後予算額。25年度は当初予算額。

▲95億円

**(1) 扶助費及び福祉・医療関係繰出金の状況**

高齢化社会の進展にともない、生活保護や障害福祉サービスなどの扶助費に国民健康保険や介護保険・後期高齢者医療特別会計への繰出金を加えた福祉・医療経費は、平成19年度以降、増加し続けている。



※23年度までは決算額。24年度は当初予算額と2月補正後予算額。25年度は当初予算額。

**■ 平成25年度予算編成における一般財源の動き**  
(影響額は対前年度との比較)

(1) 予算編成時

歳入：一般財源の減少  
▲108億円 ①

歳出：一般財源の増加  
+106億円 ②

【主なもの】

【主なもの】

|  |                  |
|--|------------------|
| 市 税 ▲ 29億円<br>地方交付税等 ▲ 35億円<br>県税交付金等 ▲ 13億円 | 扶助費<br>社会福祉関係繰出金 |
|--|------------------|

一般財源ベースで前年度より214億円悪化 ③ … (①+②)

(2) 平成25年度予算における対応

190億円 の歳出の見直し ④

|       |        |
|-------|--------|
| 裁量的経費 | ▲ 47億円 |
| 政策経費  | ▲ 50億円 |
| 義務的経費 | ▲ 59億円 |
| 職員給   | ▲ 34億円 |

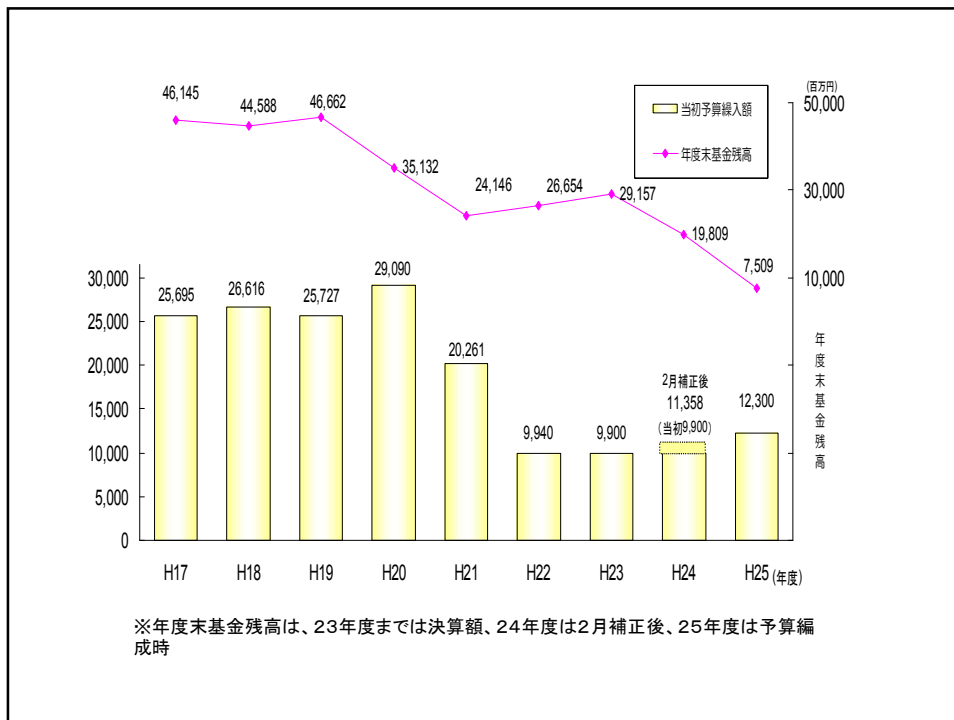
▲ 93億円

収支ギャップは **24億円悪化** …(③-④)

財源調整用基金の見込み

財源調整用基金の取り崩し額は、  
前年度99億円+24億円=123億円

その結果、平成25年度当初予算時の  
基金残高は  
75億円に減少する見込みとなった。



## 今後の対策は？

まず、平成24年度決算での不用額の確保などで一定の財源調整用基金残高を確保

- ◇ 持続可能で安定的な財政運営が実現できるよう全力を挙げる
- ◎ 新成長戦略を進めて税収増につなげる
- ◎ 本年度に新たな行財政改革の方針を策定して取り組む

## 2. 老朽危険家屋対策について



平成25年度予算では  
老朽危険家屋対策推進事業  
1,065万円  
老朽家屋等除去促進事業  
3,922万円  
が計上されている

### 議員の質問

「危険家屋への指導など改善の取り組み進められているが、いまだ長期間放置されている家屋もある。国の補助拡大の動きもあるようだ。本市の老朽危険家屋対策の現状と課題についてうかがう」



### 市長の答弁

#### ◎ 建築基準法に基づく指導

929軒中、約7割の661軒が改善  
(平成2年からの累計)



#### ◎ 老朽危険家屋対策推進事業

所有者への指導などで、適性な進捗管理を行い迅速な対応を図るため家屋台帳の電子化などを行うもの。

#### ◎ 老朽家屋等除却促進事業

◇接道条件が悪く人力による解体しかできないため割高になる解体費の一部を助成する制度。  
1年半で37件が利用し解体。

(年間50件が目標。)

◇相続物件で相続人全員の同意などハードルも。制度の利用拡大と、より使いやすい制度へ工夫する。

### 3. 消防活動困難区域での消防活動について



#### 議員の質問

「古い住宅地など、道路が狭かったり階段のある高台などで、消防活動が難しい地域での消防活動はどのようにしているのか？」

#### 消防局の答弁

##### ◎消防活動困難区域

「幅員3m未満の道路」

「急傾斜地」

「階段等のある高台地域」と位置付け  
5年ごとに調査している。

◇平成21年度調査では  
市内112箇所

ハード面では  
◇小型ポンプ車の優先配置  
25台中18台は600リットルの水積載



ハード面では  
◇小型ポンプ車の優先配置  
25台中18台は600リットルの水積載



◇消防専用送水管、防火水槽の設置 等



ソフト面では  
◎警防計画を策定し、普段からの  
現場訓練や図上訓練を実施



◎その他、  
「地震体験車の活用」など要望多数



平成25年度予算特別委員会

# 第2分科会審議報告

報告者：大石正信・岡本義之



## 第2分科会各局対象質疑

### 「国の緊急経済対策関連予算の積極的な活用について」議員の質疑主旨

平成25年度政府予算案は、平成24年度補正予算と一体をなす「15カ月予算」として編成され、復興・防災対策、成長による富の創出、暮らしの安心・地域活性化に重点化されている。

市は、この政府予算を積極的に活用して事業を行うべきではないか

### 「国の緊急経済対策関連予算の積極的な活用について」の市長答弁の主旨

- 地域経済の活性化は、最重要課題の一つとして認識。
- 国の緊急経済対策によるH24年度補正予算10.3兆円を本市のH24度補正予算とH25年度当初予算に活用し、関連事業費を計上。
- 国のH25年度予算案に本市の事業費として追加できるものがないかの情報収集や国から直接企業や民間団体に交付される補助金等についての情報提供の実施。
- 地域の活性化のためには国の予算を活用することは必要であり、本市の政策を国に伝え、本市の成長につながる事業確保のため、努力を続ける。

## 国の緊急経済対策予算の活用

保健福祉局 H25年度当初予算への活用

(単位：千円)

| 事業名                | 内容  | 対象事業費   | うち、国庫補助金 |
|--------------------|---|---------|----------|
| 社会福祉施設等耐震化等臨時特例交付金 |   |         |          |
| 障害者福祉施設の耐震化整備事業    | 民間障害児入所施設（あすなろ学園）の耐震化改築整備に対して補助を行うもの      | 246,225 | 164,150  |
| 地域の元気臨時交付金         |   |         |          |
| 斎場大規模改修事業          | 建築後30年を経過する東部斎場において火葬炉設備の中央制御システム改修等を行うもの | 130,000 | 44,000   |
| 試験検査機器更新事業         | 市立食肉センターの食肉衛生検査機器の耐用年数経過に伴う更新を行うもの        | 6,825   | 2,000    |
| 合計                 |   | 383,050 | 210,150  |

## 国の緊急経済対策予算の活用

子ども家庭局 H25年度当初予算への活用

(単位：千円)

| 事業名              | 内容   | 対象事業費   | うち、国庫補助金 |
|------------------|--|---------|----------|
| 安心こども基金          |  |         |          |
| 民間保育士の処遇改善       | 民間保育士の処遇改善を図るため、職員の平均勤続年数に応じた給与の上乗せ加算を行うもの | 301,424 | 301,424  |
| 地域の元気臨時交付金       |  |         |          |
| 青少年施設改修事業        | 青少年施設の劣化に伴う機器の取替工事を行うもの                    | 5,500   | 1,000    |
| 男女共同参画センター施設整備事業 | 男女共同参画センター”ムーブ”の施設劣化に伴う機器の取替工事等を行うもの       | 21,000  | 7,000    |
| 合計               |  | 327,924 | 309,424  |

## 国の緊急経済対策予算の活用

環境局 H25年度当初予算への活用

(単位：千円)

| 事業名                          | 内容                                   | 対象事業費   | うち、国庫補助金 |
|------------------------------|--------------------------------------|---------|----------|
| JICA草の根技術協力事業（ODAを活用した地域活性化） |                                      |         |          |
| アジア低炭素化センター技術輸出等推進事業         | 地元企業の環境ビジネス分野における機会拡大を図ることを目的とした事業実施 | 90,000  | 90,000   |
| 地域の元気臨時交付金                   |                                      |         |          |
| ごみの収集車両購入                    | 特定の耐用年数に達し、継続使用が困難な車両の更新を行うもの        | 54,383  | 17,000   |
| 合計                           |                                      | 144,383 | 107,000  |

## 国の緊急経済対策予算の活用

建設局 H25年度当初予算への活用

(単位：千円)

| 事業名                | 内容              | 対象事業費   | うち、国庫補助金 |
|--------------------|-----------------|---------|----------|
| 地域の元気臨時交付金         |                 |         |          |
| 公園緑地事業（単独）         | 小規模な施設整備        | 854,500 | 282,000  |
| 市西部地区ホタル保護活動拠点支援事業 | （仮称）香月・黒川ほたる館整備 | 28,000  | 9,000    |
| 合計                 |                 | 882,500 | 291,000  |



# 保健病院委員会所管分

## ■ 主な審議内容

### 【保健福祉局】

① 「介護保険制度の負担軽減について」



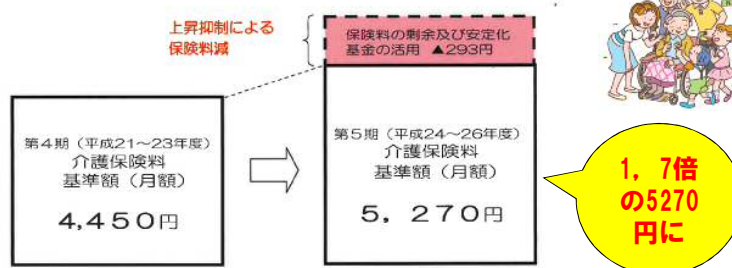
### 【子ども家庭局】

② 「保育所の待機児童解消対策について」

③ 「里親制度について」報告します。

## 「介護保険制度の負担軽減」 について

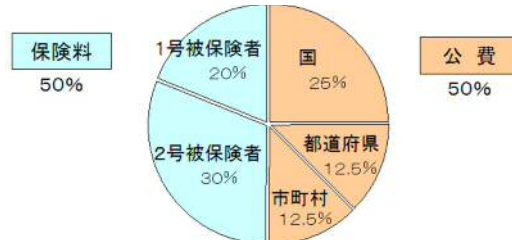
(議員の質問)



● 65歳以上の第1号保険者の第5期介護保険料の月額基準額は**5270円**となり、開始時の**1.7倍**に

### 介護給付費の財源構成

(市長の答弁)



- ①北九州市介護給付準備基金や福岡県財政安定化基金交付金を活用して、**293円**の引き下げを行った
- ②介護保険法により、保険料と国・県・市の負担割合が定められており、この負担割合を超えて一般会計からの繰り入れを行う**考えはない**

## 保育所の待機児童解消対策について

(議員の質問)

本市の保育所待機児童は、平成24年10月時点で**116名**であり、**子育て日本一**を標榜する本市で解消できない原因と課題を明確にして対策を講じるべき。





### (市長の答弁)



H24年4月から、民間保育士への交通費補助などの独自の処遇改善

H25年度には、卒業予定者を対象に、保育所就職説明会を実施予定

今後とも、保育士確保に全力をあげる

## 里親制度について

### (議員の質問)



里親普及を行うため里親とはどんなものかを多くの人に知ってもらい、体験してもらおう機会が必要では



### (市長の答弁)

市政だより等で里親制度を紹介する際には、一日里親についても合わせて周知しています。かわり方は違っても、より多くの方が要保護児童の養育に関心を持ってもらうことで、今後の里親制度の普及にもつながっていくものと考えている。

## 一日里親



# 環境建設委員会所管分

## ■ 主な審議内容

### 【環境局】

- ① 「再生可能エネルギーの電力カバー率」
- ② 「太陽光パネル設置の補助金」
- ③ 「エコカーの台数及び今後の方針」



### 【建設局】

- ④ 「道路利用者の安全対策」  
について報告します。



## ① 「若松区における再生可能エネルギーの電力カバー率」について

### 議員の質問

若松区で行われている自然エネルギーである太陽光発電や風力発電で若松区内のどれくらいのエリアをカバーできるのか



## 環境局の答弁

### 若松区における再生エネルギーの発電量

| 種類      | 発電能力<br>単位：KW      | 年間稼働率<br>(%) | 年間発電量<br>(24H×365日)<br>単位：KWh |
|---------|--------------------|--------------|-------------------------------|
| 太陽光     | 33,500<br>(33.5MW) | 12.5         | 3,668万                        |
| 風力      | 21,690<br>(21.7MW) | 25.0         | 4,750万                        |
| 年間合計発電量 |                    |              | 8,418万                        |

## 環境局の答弁

### ●カバーできる世帯

$$8,418万kWh \div 3,600kWh/世帯 \\ \doteq 2万3千世帯$$

### ●カバー率

$$\text{若松区} : 2万3千世帯 \div 3万4千世帯 \\ \doteq 70\%$$

$$\text{市内全域} : 8,418万kWh \div 100億kWh \\ \doteq 1\%$$

◇若松区世帯数：3万4千世帯

◇市内全域（産業を含む）電力需要：100億kWh

## ②「太陽光パネル設置の補助金」 について

### 議員の質問

- 住宅用太陽光パネルの市内の設置状況。
- 補助金制度の今後について



### 環境局の答弁

住宅用太陽光パネルの普及世帯数：  
**6, 896**件（H23年度末）

助成制度導入前の4倍の伸び

平成25年度推計：**1万3000**件  
環境モデル都市行動計画による導入見込み：**8, 000**件を大幅に上回る状況

普及率：**4%**（H23年度末）

全国平均：**2.6%**、福岡市：**2.2%**

## 環境局の答弁

### 住宅用太陽光パネルの設置補助金

財政状況も踏まえH24年度で終了

### 中小企業向け太陽光パネル設置等 にかかる助成については、

H25年度も引き続き実施

1事業につき、補助率3分の1  
最高限度額：300万の助成

### ③「エコカーの台数及び 今後の方針」について

#### 議員の質問

- エコカーの保有台数
- 今後の保有方針





## 環境局の答弁

本市が所有しているエコカーの台数（H24年度末）

電気自動車：52台

水素自動車：1台

平成25年度までの電気自動車の普及目標：300台（民間を含む）を超え、現在、市内で約400台が走行

H25年度の公用車への導入は見送り

## 「エコカーの台数参考資料」

### 他政令都市の電気自動車の保有台数

|      |    |     |    |     |    |
|------|----|-----|----|-----|----|
| 札幌   | 1  | 新潟  | 7  | 神戸  | 5  |
| 仙台   | 16 | 静岡  | 2  | 岡山  | 15 |
| さいたま | 53 | 名古屋 | 7  | 広島  | 14 |
| 横浜   | 28 | 京都  | 8  | 福岡  | 10 |
| 川崎   | 6  | 大阪  | 28 | 熊本  | 2  |
| 相模原  | 5  | 堺   | 8  | 北九州 | 52 |

## 「道路利用者の安全対策」について

### 議員の質問

- 横断歩道のカラー舗装化の推進
- タクシードライバーからの道路情報の提供
- フェイスブックを活用した市民からの通報システムの構築



### 横断歩道のカラー舗装化

### 市長の答弁

#### 本市の通学路の安全対策

路側帯、交差点内のカラー化

歩道やガードパイプの設置



計画的に実施

ここ10年間で、子どもが関連した歩行者の事故を、約**4割削減**

横断歩道の白線外側のカラー舗装化も通学路などの数箇所でも実施

タクシードライバーからの  
道路情報の提供

市長の答弁



各区のまちづくり整備課  
や生活環境パトロールに  
より道路、側溝等の危険  
箇所の発見、補修を実施



通報



協定により通報される

北九州市道路利用者会議  
の協力を得て検討

フェイスブックを活用し  
た市民からの通報システ  
ムの構築

市長の答弁

既存の市民等通報発見システムに

フェイスブックの活用すると

スピードアップ。状況把握に  
画像の活用が可能で有効

あり方を含め今後検討



平成25年度予算特別委員会

# 第3分科会審議報告

報告者：井上秀作議員・波田千賀子議員



# 第4回議会報告会

第3分科会 経済港湾委員会  
教育水道委員会

主査： 井上 秀作

副主査： 波田千賀子

## 1. 中央卸売市場の市制50周年 記念イベントについて

議員の質問

- 中央卸売市場を活用して市制50周年を冠したイベントを開催し賑わいを図ってはどうか

市長の答弁

- 市制50周年を記念して今年秋頃に日曜日を一日使って市場まつりを開催する。その実行委員会のメンバーに産業経済局の職員を参加させることで賑わいづくりの視点もいれる



北九州市中央卸売市場での朝の競りの様子

## 2. めかり山荘跡地について

議員の質問

- 国民宿舎めかり山荘跡地の現状と今後について

市長の答弁

国民宿舎事業は民間に任せるべきとの方針であり、事業者を公募したところ燦キャピタルマネージメント(株)が優先交渉権者に決定した。現在、同社の提案をもとに関係機関と協議中である

## めかり山荘の現状と今後の計画

現状



今後の計画



### 3. 本市が目指す教育について

#### 議員の質問

- 本市は学力日本一を目指すべきだと思うが市長の見解はどうか

#### 市長の答弁

- 教育改革会議の中で、本市の教育について学力だけを重視するのではなく、知徳体の調和のとれた人間形成を目指すべきとの結論がでた。しかし、学力向上も重要な課題と認識しており、まずは全国平均以上の達成に向けて全力を挙げる。

## 4. 過小規模小学校の学習環境について

議員の質問

- 市内には、児童数が1学年35人に満たない学級が存在しており、集団行動や団体スポーツの経験に欠けることが懸念されるが教育長の見解は

教育長の答弁

- 過小規模学級のデメリットを現出させないように例えば、伊川小学校が松ヶ江北小学校を訪問し、スポーツ大会や修学旅行、社会見学等を合同でおこなっている

## 5. 新成長戦略について

議員の質問

- 新成長戦略における市内工場のマザー工場化に対する本市の取り組みについて

市長の答弁

- マザー工場化には研究開発、人材育成といった機能が重要であり、本市の大学研究機関と連携して共同研究する研究開発施設を作ることや、研究員に対する援助を行うことで支援の大幅強化に取り組んでいる



## 6. いちいがしの植樹について

### 議員の質問

- 市のシンボルツリーであるいちいがしはあまり知られていない。そこで、市制50周年を機に、いちいがしがシンボルツリーであることを多くの市民に知っていただくため広報をしてはどうか

### 市長の答弁

- 市制50周年事業として市内全小中学校にいちいがしを植樹することを計画している。学校のような身近なところにあることで広く市民に知ってもらえると思っている



勝山公園にあるいちいがし

## 7・給付型奨学金の新設について

### 議員の質問

- 成績が優秀でありながら、返済の不安から奨学金の利用を諦め進学を断念することのないように給付型奨学金を新設すべき

### 市長の答弁

- 直ちに給付型奨学金制度を創設することは難しいと考えており、今後の国の動向や他都市の対応を注視していきたい

## 8・商店街の活性化について

### 議員の質問

八幡東区の中央区商店街でも空き店舗の増加と人通りも激減している。まつり起業祭八幡開催期間などに、空き店舗でのデザインマーケットなど出店によりにぎわい創出の取り組み等について

### 市長の答弁

まつり起業祭八幡にあわせた、ふるさと自慢物産展などの取り組みをひきつづき支援していくとともに、鹿屋市の事例について実行委員会等に新たなアイデアとして紹介していきたい。



8・市内某商店街

## 9・本市の公立幼稚園の 使命と存在価値について

議員の質問

- 1) 大幅に定員割れしている現状について
- 2) 幼児教育の研究実践の成果について
- 3) 維持管理費、運営費の負担増について
- 4) 幼稚園運営の今後の見通しについて

## 教育長の答弁

- 1) 公立幼稚園の園児数は、定員757名に対して347名となっている。
- 2) 運営経費は2900万円の収入に対して、支出合計4億4900万円です
- 3) 公立幼稚園では国、県、市から教育課程や指導方法等の研究委託を受け、その成果を公開保育や、合同研修等を通して私立幼稚園に発信することで本市幼稚園教育水準の維持向上を図っている。
- 4) 教育委員会では幼稚園教育水準の維持向上のためには公立幼稚園の研究実践機能は必要と考えており、今後は、具体的な研究内容や、そのために何園必要かについて、検討をおこなっていく。



### 9・公立幼稚園

25年度幼稚園8園 定員755名 5月1日現在 充足数347名

## 10・小・中学校の普通教室への エアコン設置について

### 議員の質問

県内では、那珂川町が太陽光発電とエアコンをセットで、すべての小・中学校にエアコンを設置した。本市でも同様の取組みができないものか

### 教育長の答弁

太陽光発電とエアコンをセットで設置する場合、多額の費用と大規模な補強工事が必要になるため困難である。普通教室への扇風機の設置はモデル事業の成果を踏まえ、平成25年度以降、段階的に全学年に設置したい。

## 11・新成長戦略における推進体制について

### 議員の質問

産業雇用戦略の進行管理が不十分である。高知県の先進事例など参考に、本市の新成長戦略におけるフォローアップの体制、計画と進捗状況の企業・学術機関・市民への理解徹底の具体的段取りについて

### 市長の答弁

新たに、組織横断的な実行などを担当する、(仮称)北九州市新成長戦略推進本部を設置し、その中に(仮称)地元企業支援本部も設置して、企業の要望に全庁挙げて対応する体制を構築していきたい。

## 12・ひびきコンテナターミナルのコンテナ取扱量見通しと北九州市物流拠点化戦略基本方針案の整合性について

### 議員の質問

HTCのコンテナ取扱量の見通しと北九州市物流拠点化戦略基本方針案の整合性について

②この中で平成27年度までの増加分の大半はひびきコンテナターミナルで扱われるものと考えている。

### 市長の答弁

①現在策定中の北九州市物流拠点化戦略基本方針では、概ね平成27年のコンテナ取扱量の目標値を64万6000TEUとしている。

③今後は太刀浦、ひびき両ターミナルを車の両輪として機能させ、更なる北九州港及び、本市経済の発展につなげていきたい。



12・ひびきコンテナターミナル

### 13・学校給食調理現場の改善について 議員の質問

- 1) 子供の食の安全、調理員の労働安全衛生面から現場の声を聞き、ただちに改善を
- 2) 中学校給食の開始により調理現場でのさまざまな課題がある。市の給食審議会への諮問をもとめる。

#### 教育長の答弁

北九州市教育委員会職員安全衛生委員会が年数回、給食調理現場を初めとする職場環境の安全点検を行い、その中で指摘された事項については可能な限り改善に取り組んでおり、北九州市学校給食審議会へ諮問することまでは考えていない。



13・学校給食調理現場